

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 王子ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3861 URL https://www.ojiholdings.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 磯野 裕之
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営委員コーポレートガバナンス本部長 (氏名) 大島 忠司 TEL 03-3563-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	420,317	5.3	21,775	39.8	28,949	△12.3	17,599	△24.4
2023年3月期第1四半期	399,177	16.5	15,578	△44.5	32,992	△4.6	23,285	13.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 28,748百万円(△47.4%) 2023年3月期第1四半期54,644百万円(21.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	17.76	17.75
2023年3月期第1四半期	23.51	23.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	2,318,786	987,963	41.4	967.82
2023年3月期	2,296,018	964,564	40.8	945.27

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 959,328百万円 2023年3月期 936,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	860,000	2.7	45,000	11.4	43,000	△28.6	28,000	△26.2	28.25
通期	1,800,000	5.5	100,000	17.9	100,000	5.3	65,000	15.1	65.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期1Q	1,014,381,817株	2023年3月期	1,014,381,817株
2024年3月期1Q	23,160,293株	2023年3月期	23,179,622株
2024年3月期1Q	991,212,039株	2023年3月期1Q	990,616,209株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	
第1四半期連結累計期間	7
(四半期連結包括利益計算書)	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当四半期連結累計期間の経営成績)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	億円	億円	億円	億円	円 銭
2024年3月期 第1四半期	4,203	218	289	176	17.76
2023年3月期 第1四半期	3,992	156	330	233	23.51
増減額	211	62	△40	△57	
増減率	5.3%	39.8%	△12.3%	△24.4%	

当社グループは、2030年までの長期ビジョンである「成長から進化へ」をグループ基本方針に据え、「環境問題への取り組み -Sustainability-」、「収益向上への取り組み -Profitability-」、「製品開発への取り組み -Green Innovation-」を推進しています。その長期ビジョンのマイルストーンとして2022年度から2024年度を対象とする中期経営計画において、連結営業利益1,500億円以上の達成、また連結純利益1,000億円以上の安定的な継続を目指しています。

具体的な取り組みとしては、当社グループは気候変動問題への対応として温室効果ガス削減や森林によるCO2純吸収量の拡大を推進するなど、環境問題への対応に継続して取り組むと同時に、最適生産体制の構築等を通じた既存事業の深化・海外パッケージング事業や環境配慮型製品等の有望事業の伸長を図り、事業価値を高めていきます。さらに、紙づくり・森づくりで培った多様なコア技術をベースに、環境配慮型素材・製品をはじめとした木質由来の新製品・新素材等の開発・早期事業化を進め、「森林を健全に育て、その森林資源を活かした製品を創造し、社会に届けることで、希望あふれる地球の未来の実現に向け、時代を動かしていく」企業として、社会へ貢献してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主として国内事業における価格修正の実施等により、前年同四半期を211億円（5.3%）上回る4,203億円となりました。

営業利益は、価格修正やコストダウン等の取り組みにより、前年同四半期を62億円（39.8%）上回る218億円となりました。経常利益は、外貨建債権債務の評価替えによる為替差益等の減少により、前年同四半期を40億円（△12.3%）下回る289億円となりました。税金等調整前四半期純利益は、前年同四半期を51億円（△15.6%）下回る279億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期を57億円（△24.4%）下回る176億円となりました。

当社グループの海外売上高比率については前年同四半期を3.3ポイント下回る33.6%となりました。

(当四半期連結累計期間のセグメント別の動向)

①セグメントの業績

(単位：億円)

		売上高			営業利益 (△は損失)		
		2023年 3月期 第1四半期	2024年 3月期 第1四半期	増減率	2023年 3月期 第1四半期	2024年 3月期 第1四半期	増減率
報告 セグメント	生活産業資材	1,871	1,976	5.6%	△3	10	—
	機能材	525	554	5.7%	37	27	△28.7%
	資源環境ビジネス	935	916	△2.0%	131	143	9.2%
	印刷情報メディア	637	743	16.7%	△16	20	—
	計	3,968	4,189	5.6%	150	200	33.6%
その他		792	782	△1.2%	21	21	△0.8%
計		4,760	4,972	4.5%	170	220	29.4%
調整額(注)		△768	△769		△14	△2	
合計		3,992	4,203	5.3%	156	218	39.8%

(注) 調整額は主として内部取引に係るものです。

②セグメント別の概況

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、経済的特徴、製品の製造方法又は製造過程、製品を販売する市場又は顧客の種類等において類似性が認められるものについて集約を実施し、「生活産業資材」、「機能材」、「資源環境ビジネス」、「印刷情報メディア」の4つとしています。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、「その他」としています。なお、前第2四半期連結会計期間より、「生活産業資材」、「その他」に区分していた一部の事業について「資源環境ビジネス」に区分を変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

各セグメントの主要な事業内容は以下のとおりです。

生活産業資材・・・ 段ボール原紙・段ボール加工事業、白板紙・紙器事業、包装用紙・製袋事業、家庭紙事業、紙おむつ事業

機能材・・・・・・・・・・ 特殊紙事業、感熱紙事業、粘着事業、フィルム事業

資源環境ビジネス・・・ パルプ事業、エネルギー事業、植林・木材加工事業

印刷情報メディア・・・ 新聞用紙事業、印刷・出版・情報用紙事業

その他・・・・・・・・・・ 商事、物流、エンジニアリング、不動産事業 他

〈生活産業資材〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比5.6%増収の1,976億円、営業利益は同13億円増益の10億円となりました。

国内事業では、段ボール原紙・段ボール、包装用紙、家庭紙等、多くの品種において物価上昇に伴う消費抑制により販売数量は減少しましたが、価格修正の実施により、売上高は前年に対し増収となりました。また、紙おむつの売上高は前年並となりました。

海外事業では、東南アジア・オセアニアで更なる事業の拡大に注力しており、2021年10月に稼働した新マシンの稼働率向上により東南アジアでの段ボール原紙の販売数量が増加したほか、オーストラリアでも段ボールを拡販しました。一方で、主にマレーシアでの段ボール需要低迷やオセアニアでの原紙市況の悪化により、売上高は前年に対し減収となりました。

〈機能材〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比5.7%増収の554億円、営業利益は同28.7%減益の27億円となりました。

国内事業では、特殊紙は戦略商品であるガラス合紙や大手通販会社向けのヒートシール紙などの拡販はあったものの、電子機器の需要不振を受けて剥離原紙・剥離紙の販売数量が落ち込み、販売数量は前年に対し減少しました。一方で、価格修正を実施したことにより、売上高は前年に対し増収となりました。感熱紙は2022年上期に世界的な物流の混乱に伴う顧客の在庫積み増しがありましたが、2022年下期より反動を受け、販売数量・売上高ともに前年に対し減少しました。

海外事業では、感熱紙は金利上昇等による在庫削減の動きが顕在化し、販売数量は前年に対し減少しましたが、価格修正の実施により売上高は前年に対し増収となりました。

〈資源環境ビジネス〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比2.0%減収の916億円、営業利益は同9.2%増益の143億円となりました。

国内事業では、パルプ事業の売上高は前年並みとなりました。エネルギー事業は、脱炭素化へ向けた成長分野への投資の一環として2022年12月から徳島県でバイオマス発電所が新たに稼働したことにより、売上高は前年に対し増収となりました。

海外事業では、パルプ事業及び木材事業はニュージーランドのPan Pac Forest Products Ltd.が2023年2月にサイクロン被害を受け、製造設備等が復旧途上であることから、売上高は前年に対し減収となりました。

〈印刷情報メディア〉

当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比16.7%増収の743億円、営業利益は同36億円増益の20億円となりました。

国内事業では、新聞用紙、印刷・情報用紙は需要の減少傾向が継続しているものの、価格修正の実施により売上高は前年に対し増収となりました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司において、販売数量は減少しましたがゼロコロナ政策終了による経済活動の回復を受けて市況が良化し、売上高は前年に対し増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、有形固定資産、棚卸資産等の増加に加え、円安の進行による為替換算差もあり、前連結会計年度末に対し228億円増加し、23,188億円となりました。負債は有利子負債等が増加しましたが、支払手形及び買掛金等の減少により、前連結会計年度末に対し6億円減少し、13,308億円となりました。純有利子負債残高(有利子負債－現金及び現金同等物等)は前連結会計年度末に対し67億円減少し、7,246億円となりネットD/Eレシオ(純有利子負債残高/純資産残高)は経営目標である0.7倍を維持しています。純資産は為替換算調整勘定や利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に対し234億円増加し、9,880億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日の決算短信で公表した第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。今後、連結業績予想の修正が必要と判断した時点で速やかに公表します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,774	66,891
受取手形、売掛金及び契約資産	377,368	358,463
有価証券	6,299	5,880
商品及び製品	117,473	122,504
仕掛品	23,510	27,999
原材料及び貯蔵品	140,337	142,526
その他	74,696	66,355
貸倒引当金	△1,791	△2,223
流動資産合計	788,670	788,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	216,045	219,274
機械装置及び運搬具（純額）	407,869	410,330
土地	242,287	242,672
その他（純額）	342,031	349,843
有形固定資産合計	1,208,234	1,222,120
無形固定資産		
のれん	11,868	15,191
その他	14,119	14,001
無形固定資産合計	25,988	29,193
投資その他の資産		
投資有価証券	180,067	185,420
その他	95,029	95,679
貸倒引当金	△1,972	△2,024
投資その他の資産合計	273,124	279,075
固定資産合計	1,507,347	1,530,389
資産合計	2,296,018	2,318,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	251,176	243,024
短期借入金	226,739	225,101
コマーシャル・ペーパー	86,000	87,000
未払法人税等	16,643	10,665
引当金	7,337	7,696
その他	99,174	99,497
流動負債合計	687,070	672,985
固定負債		
社債	155,000	155,000
長期借入金	320,599	330,220
引当金	6,344	6,281
退職給付に係る負債	53,537	53,927
その他	108,900	112,407
固定負債合計	644,383	657,838
負債合計	1,331,453	1,330,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	85,892	85,892
利益剰余金	607,593	619,991
自己株式	△12,949	△12,938
株主資本合計	784,418	796,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,573	47,650
繰延ヘッジ損益	474	197
土地再評価差額金	5,716	5,716
為替換算調整勘定	85,253	89,905
退職給付に係る調整累計額	19,514	19,032
その他の包括利益累計額合計	152,531	162,501
新株予約権	134	130
非支配株主持分	27,480	28,504
純資産合計	964,564	987,963
負債純資産合計	2,296,018	2,318,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	399,177	420,317
売上原価	321,969	334,748
売上総利益	77,207	85,568
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	31,105	31,351
従業員給料	13,726	14,787
その他	16,796	17,653
販売費及び一般管理費合計	61,628	63,792
営業利益	15,578	21,775
営業外収益		
受取利息	323	526
受取配当金	1,428	1,625
為替差益	15,322	8,358
持分法による投資利益	555	900
その他	3,415	1,081
営業外収益合計	21,044	12,492
営業外費用		
支払利息	1,816	1,777
その他	1,814	3,541
営業外費用合計	3,630	5,319
経常利益	32,992	28,949
特別利益		
受取保険金	352	1,080
その他	165	293
特別利益合計	517	1,374
特別損失		
災害による損失	18	1,664
その他	473	781
特別損失合計	491	2,445
税金等調整前四半期純利益	33,018	27,877
法人税、住民税及び事業税	8,163	8,720
法人税等調整額	1,003	738
法人税等合計	9,166	9,459
四半期純利益	23,851	18,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	566	818
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,285	17,599

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	23,851	18,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,098	5,589
繰延ヘッジ損益	△1,980	△277
為替換算調整勘定	30,996	5,003
退職給付に係る調整額	△655	△393
持分法適用会社に対する持分相当額	332	408
その他の包括利益合計	30,792	10,330
四半期包括利益	54,644	28,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,820	27,712
非支配株主に係る四半期包括利益	824	1,035

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。